

無所属市民派

瀬野

情報公開と市民参画をめざして



せの喜代の 区議会ノート

区議会での会派は民主党・市民の会です

2011・春
第36号

介護
子育て
環境

<http://senokiyo.sakura.ne.jp/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail:senokiyo@yahoo.co.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

—— 第1回定例区議会 予算特別委員会から ——



子どもたちに基礎学力の定着を 貧困の連鎖を断ち切るためにも

補習教室

不況続きで格差が拡大している今、子どもが精神的・経済的に自立するための教育が必要。「勉強が苦手」な子ども達に対して、荒川区は習熟度別学習で「わかる授業を行う」としているが、それだけでは不十分で、落ちこぼれている子どもがいるのが現状。先生は忙しすぎる。子どもに勉強する習慣をつけることができない家庭が増え、貧困の連鎖が続いてしまう。勉強が苦手

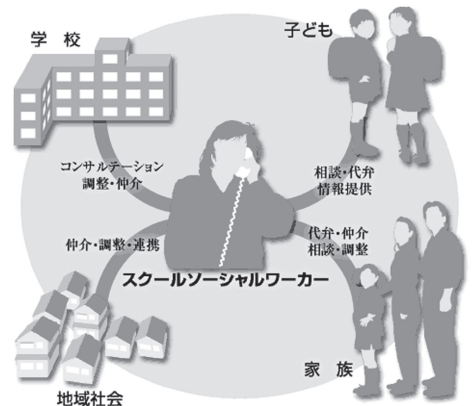
な子をひとりひとり励ましなが、基礎学力と生きる力をつける教育を保障してほしい。学校や地域で補習教室ができるよう応援すべきではないか。

区：学力定着できるよう、学校や地域で取り組みを模索したい。

スクール・ソーシャル・ワーカー の活用を

しっかりと子どもを育てられない家庭が増加している。子どもの生活が乱れ「問題児」とされ、授業に差し障る場合もある。子どもをしかるだけでなく、SOSと受け止め、学校と地域が連携して支援すべきである。区でも、スクール・ソーシャル・ワーカーが主に中学校で活動し始めたが、その活動を校長や、担任があまり理解していない。地域ぐるみで、困難な状況に置かれた子どもの支援にあたるにはもっと、全小中学校でスクール・ソーシャル・ワーカーの活用をすすめるべきではないか。

区：スクール・ソーシャル・ワーカーの活用を全小中学校で進めていく。



日本スクールソーシャルワーク協会ホームページより
http://www.sswaj.org/w_ssw.html

このたびの東日本大地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災地の皆様の忍耐と助け合いに敬意を表します。一日も早いご回復を心より願います。被災地への支援と、荒川区の防災対策の充実に全力で取り組みます。 荒川区議会議員 せの喜代